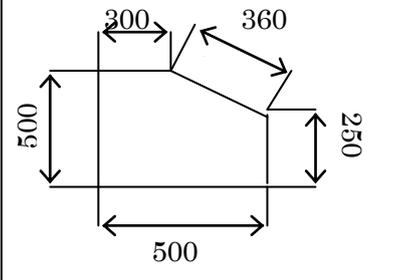
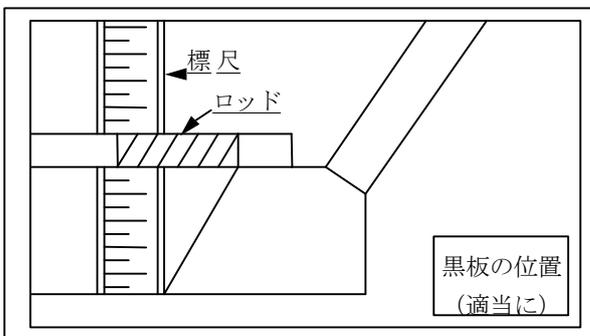
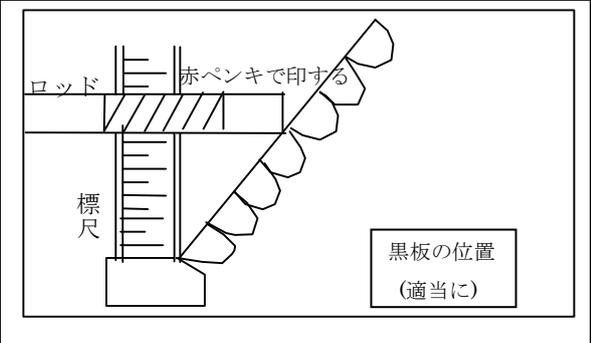


工種	撮影基準	撮影箇所
1 共通 工事	<p>1. 一般</p> <p>1. 工事着手前及び完成後の全景（できるだけ同一位置から撮影する）。</p> <p>2. 施工状況、施工法について適宜撮影する。</p> <p>3. 仮設関係について適宜撮影する。</p> <p>4. 被災のおそれがあるときはその都度出来高を撮影する。</p> <p>5. 品質管理実施状況について適宜撮影する。</p> <p>6. 工場製作状況について適宜撮影する。</p> <p>7. 基礎工等で埋設される部分、完成後明視できない部分などについては、特に留意して撮影する。</p> <p>8. その他必要に応じて適宜撮影する。</p>	
	<p>2. 掘削</p> <p>施工延長おおむね 50～100mにつき 1箇所 の割合で撮影する。 上記未满是 2箇所撮影する。</p>	<p>掘削幅、掘削深さ、法長、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	<p>3. 盛土</p> <p>上記と同一。</p>	<p>盛土幅、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	<p>4. 石積み（張） ブロック積み （張）</p> <p>施工延長おおむね 40～80mにつき 1箇所 の割合で撮影する。 上記未满是 2箇所撮影する。</p>	<p>床掘、基礎関係、裏込、その他必要箇所を撮影する。</p>
	<p>5. 基礎杭打工</p> <p>20本に 1箇所の割合で撮影する。</p>	<p>偏心量、リバウンド量、その他必要箇所を撮影する。</p>
	<p>6. 矢板打工</p> <p>施工延長おおむね 40～80mにつき 1箇所 の割合で撮影する。 上記未满是 2箇所撮影する。</p>	<p>偏心量、その他必要箇所を撮影する。</p>
	<p>7. オープンケーソン</p> <p>構造図の寸法標示箇所を 1ロット毎に 撮影する。</p>	<p>幅、高さ、長さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。</p>
	<p>8. 栗石基礎 砕石基礎 砂基礎 均しコンクリート</p> <p>施工延長おおむね 50～100mにつき 1箇所の割合で撮影する。 上記未满是 2箇所撮影する。</p>	<p>幅、厚さ、転圧、粒径、その他必要箇所を撮影する。</p>

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>1. 撮影箇所の確認、寸法の判定ができるよう工夫する。</p> <p>2. 撮影箇所には次の事項を記入した黒板を用意し、整理説明の便となるよう工夫する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 工事名</li> <li>(2) 工種及び種別</li> <li>(3) 作業内容</li> <li>(4) 測点</li> <li>(5) 設計数量・寸法</li> <li>(6) 実測数量・寸法</li> <li>(7) 略図</li> </ol> <p>3. 写真はカラー撮影とする。なお、写真ファイルの記録形式は JPEG とし、有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標（百万画素以上）とする。</p> <p style="text-align: center;">黒板記入例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">○○○○工事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">(種別) 法枠基礎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">(測定点) No.195+8.0</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">写 真 例 (基礎の高さ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;">  </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 写真は施工の時期、工種、施工の順序が判定できるよう整理し、アルバムに添付する。</li> <li>2. 完成検査及び既済部分検査の際は上記アルバムを検査職員に提示し、寸法出来形管理と併せて確認の資料とする。</li> </ol>

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
1 共 通 工 事	9. コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎、側溝、管渠、横断構造物、コンクリート擁壁、その他上記に準ずるもの	線的な構造物については施工延長おおむね 40～80mにつき 1 箇所割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、厚さ、配筋、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	10. 精度を要するもの 分土工計量部 ゲート戸当部 橋台沓部	構造図の寸法標示箇所を撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。
	11. U字溝 U字フリームベンチフリーム	施工延長おおむね 50～100mにつき 1 箇所割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。	施工状況、その他必要箇所を撮影する。
	12. 土水路	施工延長おおむね 200～400mにつき 1 箇所割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。 施工延長を示さない場合は、1～2 工区につき 1 箇所割合で撮影する。	幅、厚さ、高さ、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
	13. 鉄筋組立	1 スパン（1 打設ブロック）ごとに撮影する。	かぶり、中心間隔、その他必要箇所を撮影する。
2 ほ 場 整 備 工 事	1. 表土扱い	おおむね 10 a 当たり 1 箇所割合で撮影する。	表土厚を撮影する。
	2. 基盤造成表土 整地基盤整地	上記と同一。	基盤面、表土埋戻後を撮影する。
	3. 畦畔復旧	施工延長おおむね 200～400mにつき 1 箇所割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。	幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	4. 道路工 (砂利道)	幹線道路は 50～100mにつき 1 箇所割合で、支線道路は 200～400mにつき 1 箇所割合で撮影する。	まき出し厚さ、転圧、厚さ、幅、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>4. 基礎等が土砂又は水面に埋設する場合、法長の測量点を赤ペンキ等で印をする。</p> <p>印の位置はなるべく1 mとか2 mのように整数値とする。</p> <p style="text-align: center;">写真例</p> 	

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
3 農 用 地 造 成 工 事	1. 耕起深耕	おおむね1 ha 当たり 2～3 箇所撮影するほか、つぼ掘りは2 ha 当たり 1 箇所の割合で撮影する。
	2. テラス (階段畑)	テラス延長 100～200mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。
	3. 道路工 (耕作道)	施工延長おおむね 100～200mにつき 1 箇所の割合で撮影する。
	4. 土壌改良	おおむね 2 ha 当たり 1 箇所の割合で撮影する。
	5. 改良山成	測定点 2～3 箇所につき 1 箇所の割合で撮影する。
		耕起深、つぼ掘りを撮影する。
		幅、耕起幅、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
		幅、厚さ、法勾配、側溝幅を撮影する。
		サンプル採取中及び試験中の箇所、その他必要箇所を撮影する。
		基準高、法勾配、その他必要箇所を撮影する。

撮影方法	管理方法

工種	写真管理項目		デジタル 工事写真 による提 出頻度	概要	
	撮影項目	撮影頻度（時期）			
4 農 道 工 事 品 質 管 理 写 真 撮 影 箇 所 一 覧 表	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		プルフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中] 品質に異常が認めら れた場合 [試験実施中]		
		骨材のふるい分け 試験			
		土の液性限界・塑性 限界試験			
		含水比試験			
	上層路盤 (粒調路盤)	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		粒度			
		平板載荷試験			
		土の液性限界・塑 性限界試験	観察により異常が認 められた場合 [試験実施中]		
		含水比試験			
	アスファルト安定処 理路盤	アスファルト舗装 に準拠		不要	
	上層路盤 (水硬性粒調 スラグ路盤)	上層路盤に準拠		不要	
	路盤工(歩道・ 路肩部)	上層路盤に準拠		不要	
	セメント安定処理 路盤(施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認 められた場合 [試験実施中]		
		セメント量試験	品質に異常が認めら れた場合 [試験実施中]		
	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度 分析試験			
温度測定					
水浸ホイールトラックク 試験					
ホイールトラックク試験					
ラベリング試験					

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要	
	撮影項目	撮影頻度（時期）			
4 農道工事 品質管理写真撮影箇所一覧表	アスファルト舗装 （舗設現場）	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		温度測定			
		外観検査			
		すべり抵抗試験			
	アスファルト舗装・表層・基層 （再生合材）	アスファルト舗装に準拠		不要	
	舗装工 （歩道・路肩部・橋面舗装）	アスファルト舗装に準拠		不要	
	転圧コンクリート （施工）	コンステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		マーシャル突き固め試験			
		ランマー突き固め試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		温度測定（コンクリート）	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]		
		現場密度の測定 コアによる密度測定	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
	ゲースAs舗装 （プラント）	貫入試験 40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		リュエル流動性試験 240℃			
		ホイールラッキング試験			
		曲げ試験			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
温度測定					
路床安定処理工	現場密度の測定	路床毎に1回 [試験実施中]	不要		
	プルーフローリング				
	平板載荷試験				
	現場CBR試験				
	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]			
	たわみ量	プルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中]			

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要	
	撮影項目	撮影頻度（時期）			
4 農道工事 品質管理写真撮影箇所一覧表	表層安定処理工 （表層混合処理）	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中]		
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験	[試験実施中]		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]		
道路土工 （施工）	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	不要		
	ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]			
	平板載荷試験	土質毎に1回 [試験実施中]			
	現場CBR試験	[試験実施中]			
	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]			
	コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]			
	たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]			
路床入替	ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]	不要		
	現場密度の測定	試験毎に1回 [試験実施中]			

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要
	撮影項目	撮影頻度（時期）		
4 農道工事 品質管理 写真撮影箇所一覧表	路上再生路盤工（材料）	修正CBR試験	材料毎に1回 [試験実施中]	不要
		土の粒度試験		
		土の含水比試験		
		土の液性限界・塑性限界試験		
	路上再生路盤工（施工）	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		土の一軸圧縮試験		
		CAEの一軸圧縮試験		
		含水比試験		
	路上表層再生工（材料）	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 [試験実施中]	
		旧アスファルトの軟化点		
	路上表層再生工（施工）	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
かきほぐし深さ				
粒度 アスファルト量抽出粒度分析試験				
排水性舗装工（プラント）	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
	アスファルト量抽出粒度分析試験			
	温度測定			
	水浸ホイルトラッキング試験			
	ホイルトラッキング試験			
	ラベリング試験			
	カンタプロ試験			
排水性舗装工（舗設現場）	温度測定	不要		
	現場透水試験			
	現場密度の測定			
	外観検査			
簡易舗装工	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
	粒度			
	アスファルト量抽出粒度分析試験			
	フルフローリング			
	温度測定			
	含水比試験			

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要
	撮影項目	撮影頻度（時期）		
4 農道工事	アスファルト舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
出来形管理写真撮影箇所一覧表	アスファルト舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
	アスファルト舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	1,000 m <sup>2</sup> に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
	アスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
	アスファルト舗装工（基層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚
		タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要
	撮影項目	撮影頻度（時期）		
4 農道工事	アスファルト舗装工（表層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚
		タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
		平坦性	1工事1回〔実施中〕	
出来形管理写真撮影箇所一覧表	コンクリート舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
	コンクリート舗装工（粒度調整路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
	コンクリート舗装工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要	
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
	コンクリート舗装工（アスファルト中間層）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚
		タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要
	撮影項目	撮影頻度（時期）		
4 農道工事  出来形管理写真撮影箇所一覧表	コンクリート舗装工（コンクリート舗装版工）	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚
		スリップバー、タイバー寸法、位置	40mに1回 〔据付後〕	
		鉄網寸法 位置	40mに1回 〔据付後〕	
		平坦性	1工事1回〔実施中〕	
		厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕	
		目地段差	1工事に1回	
	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	1,000 m <sup>2</sup> に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要	
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要
	撮影項目	撮影頻度（時期）		
4 農道工事	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）	整正状況 400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	
	アスファルト中間層	タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 [散布時]		
		幅 各層毎40mに1回 [整正後]		
出来形管理写真撮影箇所一覧表	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）	敷均し厚さ 転圧状況 400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
		厚さ 各層毎40mに1回 [型枠据付後]		
		平坦性 1工事1回 [実施中]		
薄層カラー舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚	
	転圧状況	[施工中]		
	整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
	厚さ	各層毎40mに1回 [整正後]		
薄層カラー舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	幅	各層毎40mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	
	敷均し厚さ	各層毎400mに1回		
	転圧状況	[施工中]		
	整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
薄層カラー舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	厚さ	各層毎40mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	
	幅	各層毎40mに1回 [整正後]		
	敷均し厚さ	各層毎400mに1回		
	転圧状況	[施工中]		
	整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
	厚さ	1,000 m <sup>2</sup> に1回 [整正後] ※コアを採取した場合は 写真不要		
	幅	各層毎40mに1回 [整正後]		

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要
	撮影項目	撮影頻度（時期）		
4 農道工事	薄層カラー舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
出来形管理写真撮影箇所一覧表	薄層カラー舗装工（基層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚
		タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
		厚さ	1,000 m <sup>2</sup> に1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
ブロック舗装工（下層路盤工）	ブロック舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
ブロック舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	ブロック舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
ブロック舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	ブロック舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		厚さ	各層毎 200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	

工種	写真管理項目		デジタル工事写真による提出頻度	摘要
	撮影項目	撮影頻度（時期）		
4 農道工事	ブロック舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚
		整正状況	各層毎 400mに1回 〔整正後〕	
		幅	各層毎 40mに1回 〔整正後〕	
出来形管理写真撮影箇所一覧表	ブロック舗装工（基層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚
		タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
	路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚
	置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚
	置換工（路床入替工）	巻出し厚さ 締固め状況	200mに1回 〔施工中〕	
	サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚
	掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚
		法長	200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕	
	路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚
		締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
		法長 幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
	法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
5 水路工事	1. 現場打開水路	おおむね2スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。
	2. 現場打サイホン	上記と同一。	上記と同一。
	3. 現場打暗渠	上記と同一。	上記と同一。
	4. 鉄筋コンクリート大型フリーム鉄筋コンクリートL形水路	施工延長おおむね50~100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	鉄筋コンクリート大型フリームについては、布設、その他必要箇所を、鉄筋コンクリートL形水路については、幅、厚さ、布設、その他必要箇所を撮影する。
	5. ボックスカルバート水路	上記と同一。	高さ、その他必要箇所を撮影する。
6 河川及び排水路工事	1. コンクリート法覆工 アスファルト法覆工	上記と同一。	幅、厚さ、法長、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
	2. コンクリートブロック積み水路鉄筋コンクリート柵渠	上記と同一。	コンクリートブロック積み水路については基礎関係、裏込、幅、高さ、その他必要箇所を、鉄筋コンクリート柵渠については、アーム間隔、柵板設置、その他必要箇所を撮影する。
	3. ライニング水路連節ブロック張りコンクリートマット	上記と同一。	布設、幅、法長、その他必要箇所を撮影する。
	4. かごマット	120m 又は 1 施工箇所に 1 回〔施工後〕	高さ、法長
	5. じゃかご	上記と同一。	法長、厚さ
	6. ふとんかご、かご枠	上記と同一。	高さ、厚さ
	6. 根固めブロック工	全数量〔製作後〕	数量
		形状寸法変わる毎に1回〔製作後〕	ブロックの形状寸法
	7. 樋門、樋管、函渠工	1 施工箇所に 1 回〔型枠取り外し後〕	厚さ、幅、内空幅、内空高
8. 排水路	施工延長おおむね50~100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	コンクリート二次製品水路については、布設、その他必要箇所を撮影する。	

撮影方法	管理方法

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
管 水 路 工 事	1. 管体基礎工 砂基礎及び埋戻 等	施工延長おおむね 50～100mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	基礎、埋戻等の厚さ、幅、まき 出し、締固め状況等を撮影する。
	2. 管水路遠心力 鉄筋コンクリー ト管	上記と同一。	管布設状況、外観検査、ジョイ ント関係、その他必要箇所を撮 影する。
	3. 管水路 強化プラスチッ ク複合管 ダクタイル 鋳鉄 管	上記と同一。	上記と同一。
	4. 管水路 (硬質ポリ塩 化ビニル管)	上記と同一。	上記と同一。
	5. 管水路 (鋼管)	上記と同一。	芯出し据付け状況、溶接作業、 清掃状況、塗装、非破壊検査、 ピンホール検査、膜厚検査、そ の他必要箇所を撮影する。
	6. 管水路 (埋設とう性 管) たわみ率	たわみ量測定箇所 2 箇所につき 1 箇所 の割合で撮影する。 ただし、測定箇所が 2 箇所の場合は 2 箇所とも撮影する。	マーキング関係、Dh 及びDv 寸 法、その他必要な箇所について 撮影する。
	7. シールド工事 (一次覆工)	施工延長おおむね 50～100mにつ き 1 箇所の割合で撮影する。上記未満 は 2 箇所撮影する。 たわみ率測定箇所 2 箇所につき 1 箇所 の割合で撮影する。 ただし、測定箇所が 2 箇所の場合は 2 箇所とも撮影する。	セグメント設置状況、外観検査、 Dh 及びDv 寸法、その他必要箇 所を撮影する。
	8. シールド工事 (二次覆工)	上記と同一。	管布設状況、外観検査、ジョイ ント関係、Dh 及びDv 寸法、そ の他必要箇所を撮影する。
	9. 推進工事	上記と同一。	上記と同一。

撮影方法	管理方法
<p>膜厚検査で塗膜厚の確認が困難な場合は、使用済塗料空カン等の撮影を行う。</p>	
<p>Dh 及び Dv 寸法の測定状況のほか、スケール目盛を撮影する。</p>	
<p>上記と同一。</p>	
<p>上記と同一。</p>	
<p>上記と同一。</p>	

工 種		撮 影 基 準	撮 影 箇 所
8	1. 管布設	路線別に1路線1～2箇所撮影する。	埋設深を100mで1か所程度撮影する。
パイ プ ラ イ ン 工 事	1. コンクリート桁 (ポストテンション桁)	構造図の寸法標示箇所を桁毎に撮影する。	PC鋼線配置状況、幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	2. 鉄筋コンクリート床版工	幅については1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。 厚さについては施工面積おおむね30～60㎡につき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	配筋、幅、厚さ、その他必要箇所を撮影する。
	3. 鉄筋コンクリート高欄及び地覆工	上記と同一。	上記と同一。
10	1. 橋台工	構造図の寸法標示箇所を1基毎に撮影する。	基礎関係、配筋、天端長、敷長、敷幅、高さ、控壁の厚さ、その他必要箇所を撮影する。 なお、橋台沓部については「1 共通工事の10. 精度を要するもの」の項に定めるところによる。
	2. 橋脚工張出式重力式半重力式	上記と同一。	基礎関係、配筋、天端長、敷長、天端幅、敷幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	3. 橋脚工ラーメン式	上記と同一。	基礎関係、配筋、天端長、天端幅、中間幅、基礎幅、高さ、厚さ、その他必要箇所を撮影する。

撮影方法	管理方法

工 種		撮 影 基 準	撮 影 箇 所
11	1. 法面保護工 法面保護工事	客土吹付、植生基材吹付工、コンクリート吹付、モルタル吹付は、施工面積おおむね200～400㎡につき1箇所、その他は1,000㎡につき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	法面状況、法面清掃、法勾配、法長、厚さ、ラス張、植生ネット張、むしろ張、アンカー打込み等必要箇所を撮影する。
12	1. 吸水渠 暗渠排水工事	1 耕区当たり1～2箇所の割合で撮影する。	埋設深、埋設間隔、その他必要箇所を撮影する。
	2. 集水渠 (支線) 導水渠 (幹線)	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。	埋設深、その他必要箇所を撮影する。
13	1. 堤体工 ため池改修工事	施工延長おおむね20m～40mにつき1箇所の割合で撮影する。	盛土幅員、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝その他必要箇所を撮影する。
	2. 洪水吐工	おおむね2スパンにつき1箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、高さ、配筋、打継目、パイプ布設、外観検査、ジョイント関係、その他必要箇所を撮影する。
	3. 樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等)	施工延長おおむね10mにつき1箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。

撮影方法	管理方法